

## 山形県子どもの生活実態調査の結果【概要版】

### 1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

本県の子どもたちが、家庭の事情や経済的な問題により将来の可能性が閉ざされることのないよう、子育て世代の親及び子どもの生活実態や支援ニーズ等を把握し、子どもの貧困対策の効果的な施策展開と施策の充実を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

#### (2) 調査対象 6,755世帯

令和5年4月1日現在、満5歳（年長児相当）、満10歳（小学5年生）、満13歳（中学2年生）、満16歳（高校2年生相当）の子どもとその保護者  
※満5歳は保護者のみ

#### (3) 調査方法 住民基本台帳から上記対象年齢ごとに5分の1程度を無作為に抽出し、郵送により調査票を配布・回収

#### (4) 調査期間 令和5年12月15日から令和6年1月10日まで

#### (5) 有効回答 子ども 1,610世帯 (30.6%) ※満5歳を除く5,282世帯中 (回答率) 保護者 2,257世帯 (33.4%)

### 2 結果の概要

#### I 世帯の状況

- ・ひとり親世帯は11.0%（前回比△2.4ポイント）で、うち母子又は父子のみの世帯は5.9%（前回比△0.7ポイント）。二人親世帯は88.1%（前回比+5.1ポイント）。
- ・二世帯世帯は60.2%（前回比+6.8ポイント）で、三世帯世帯は38.9%（前回比△4.1ポイント）。
- ・平均世帯人員は4.7人（前回比△0.1ポイント）で、平均の子どもの数は2.0人（前回同数）。

#### (1) 世帯構成

##### 【世帯類型別】

全世帯	ひとり親世帯				二人親世帯	その他 (不明含む)		
	母子世帯	父子世帯		二人親と子どものみ				
		母子のみ	父子のみ					
2,257 (100%)	249 (11.0%)	213 (9.4%)	122 (5.4%)	36 (1.6%)	11 (0.5%)	1,988 (88.1%)	1,216 (53.9%)	20 (0.9%)
	【13.4%】	【10.4%】	【5.5%】	【3.0%】	【1.1%】	【83.0%】	【46.9%】	【3.6%】

※( )は今回調査構成比、【 】は、前回調査構成比

## 【世帯構造別】

全世帯	二世帯世帯	三世帯世帯	その他(不明含む)
2,257 (100%)	1,358 (60.2%) 【53.4%】	879 (38.9%) 【43.0%】	20 (0.9%) 【3.6%】

( )は今回調査構成比、【 】は、前回調査構成比

- (2) 平均世帯人員            4.7人【前回調査結果 4.8人】
- (3) 平均の子どもの数       2.0人【前回調査結果 2.0人】

### ■集計区分

世帯の所得に応じて次のとおり設定し、集計を行った。

A世帯	等価可処分所得が127万円未満の世帯
B世帯	等価可処分所得が127万円以上の世帯
全世帯	A世帯とB世帯の合計

※等価可処分所得・・・世帯の可処分所得（所得税、住民税、社会保険料及び固定資産税を差し引いた後のいわゆる手取り収入）を世帯員数の平方根（ $\sqrt{\quad}$ ）で割った所得

※厚生労働省の「令和4年国民生活基礎調査（令和3年の所得）」において算出された等価可処分所得の中央値（254万円）の半分の額（127万円）が「貧困線」とされ、貧困線に満たない世帯員の割合が「貧困率」とされている。

#### 【等価可処分所得127万円（貧困線）未満の世帯所得の目安】

- ・ 2人世帯：179万円以下（1,790,000円 $\div\sqrt{2}$ =1,265,721円）
- ・ 3人世帯：219万円以下（2,190,000円 $\div\sqrt{3}$ =1,264,397円）
- ・ 4人世帯：253万円以下（2,530,000円 $\div\sqrt{4}$ =1,265,000円）
- ・ 5人世帯：283万円以下（2,830,000円 $\div\sqrt{5}$ =1,265,614円）

## II 保護者の就労状況

### (1) 就業形態

- 全世帯の父のうち「仕事あり」は99.3%（前回比+0.2ポイント）、「仕事なし」は0.7%（前回比△0.2ポイント）。母のうち「仕事あり」は92.8%（前回比+4.4ポイント）、「仕事なし」は7.2%（前回比△4.4ポイント）。
- 全世帯の「仕事あり」の父のうち「正規雇用」は75.5%（前回比+3.2ポイント）、「非正規雇用」は3.0%（前回比△0.3ポイント）。母のうち「正規雇用」は48.6%（前回比+9.8ポイント）、「非正規雇用」は35.3%（前回比△3.5ポイント）。
- A世帯の母はB世帯の母に比べて「非正規雇用」の割合が14.6ポイント高い。

### 【今回調査結果】

	父			母		
	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯
仕事あり①	1,866 (99.3%)	84 (97.7%)	1,782 (99.4%)	1,871 (92.8%)	120 (86.3%)	1,751 (93.3%)
正規雇用(民間企業の正社員、公務員などの正職員、団体職員)	1,418 (75.5%)	39 (45.3%)	1,379 (76.9%)	979 (48.6%)	36 (25.9%)	943 (50.2%)
非正規雇用(契約社員、派遣社員、パート、アルバイト等)	56 (3.0%)	10 (11.6%)	46 (2.6%)	711 (35.3%)	68 (48.9%)	643 (34.3%)
その他(会社役員、自営業等)	392 (20.9%)	35 (40.7%)	357 (19.9%)	181 (9.0%)	16 (11.5%)	165 (8.8%)
仕事なし②	13 (0.7%)	2 (2.3%)	11 (0.6%)	145 (7.2%)	19 (13.7%)	126 (6.7%)
合計(①+②)	1,879	86	1,793	2,016	139	1,877
無回答	178	58	120	41	5	36

※ ( ) 内は、無回答を除く世帯区分毎の合計に対する構成割合

### 【前回調査結果】

	父			母		
	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯
仕事あり①	2,308 (99.1%)	257 (98.1%)	2,051 (99.2%)	2,281 (88.4%)	325 (89.5%)	1,956 (88.2%)
正規雇用(民間企業の正社員、公務員などの正職員、団体職員)	1,684 (72.3%)	130 (49.6%)	1,554 (75.1%)	1,001 (38.8%)	91 (25.1%)	910 (41.0%)
非正規雇用(契約社員、派遣社員、パート、アルバイト等)	83 (3.6%)	21 (8.0%)	62 (3.0%)	1,002 (38.8%)	173 (47.7%)	829 (37.4%)
その他(会社役員、自営業等)	541 (23.2%)	106 (40.5%)	435 (21.0%)	278 (10.8%)	61 (16.8%)	217 (9.8%)
仕事なし②	22 (0.9%)	5 (1.9%)	17 (0.8%)	300 (11.6%)	38 (10.5%)	262 (11.8%)
合計(①+②)	2,330	262	2,068	2,581	363	2,218
無回答	242	107	135	61	10	51

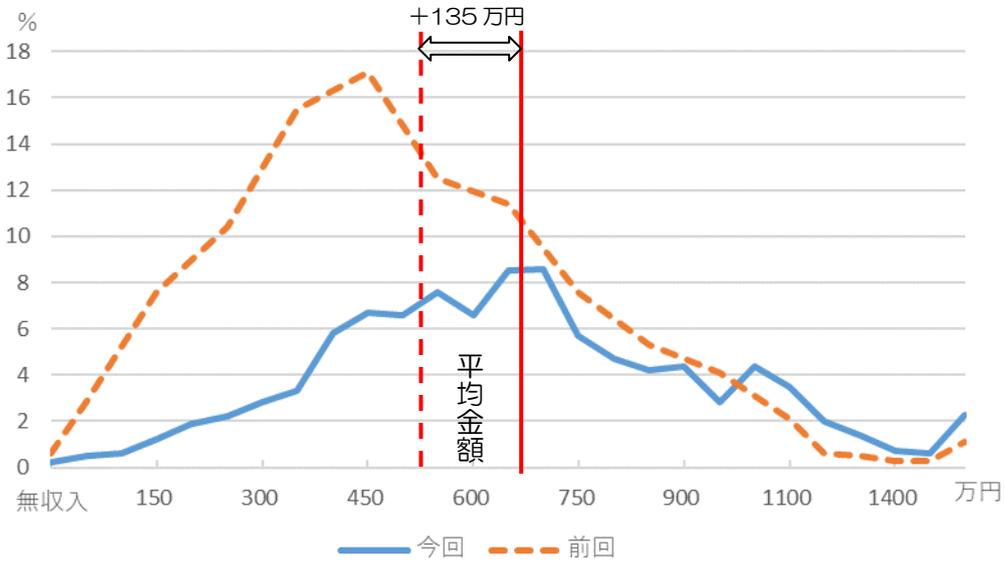
※ ( ) 内は、無回答を除く世帯区分毎の合計に対する構成割合

### Ⅲ 世帯の経済状況

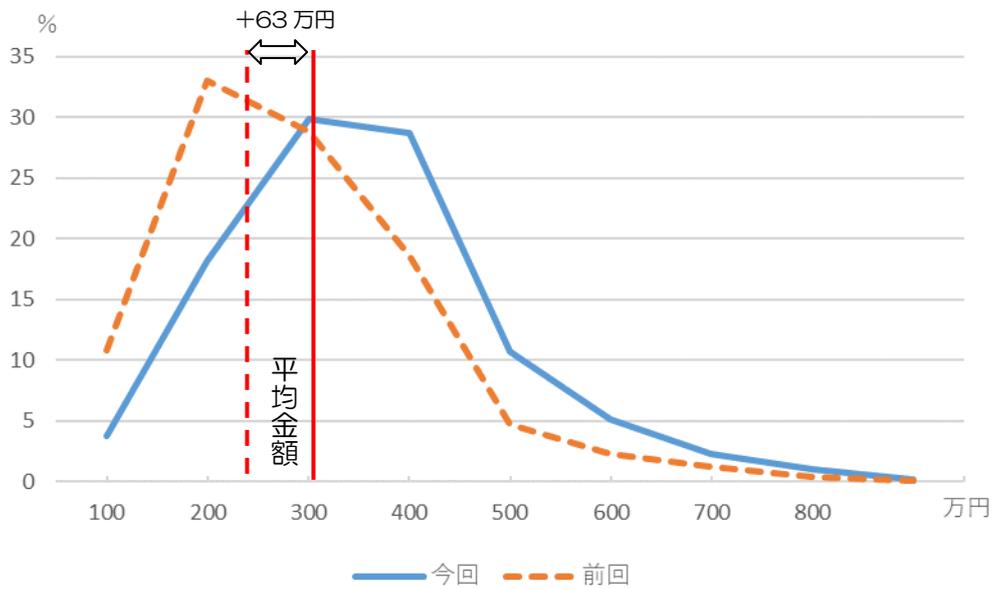
#### (1) 世帯の所得（可処分所得）

- 1世帯当たりの可処分所得の平均金額は650万円（前回比+135万円）、子どもの等価可処分所得の平均金額は304万円（前回比+63万円）。

##### ① 1世帯当たりの可処分所得の分布



##### ② 子どもの等価可処分所得の分布



## (2) 子どもの貧困率

- 等価可処分所得が127万円（貧困線）に満たない子どもの割合（貧困率）は6.9%（前回比△9.1ポイント）。

### 【貧困率の低下要因】

- 「ひとり親世帯」の割合が低下（前回比△2.4ポイント）し、「二人親世帯」の割合が増加（前回比+5.1ポイント）。
- 全世帯の父・母ともに「正規雇用」の割合が増加（前回比、父+3.2ポイント、母+9.8ポイント）。

⇒ これらの要因により等価可処分所得の平均金額が増加し、貧困率の改善の要因になっていることが推察される。

※令和4年国民生活基礎調査における全国の子どもの貧困率は11.5%

## (3) 家計の支出（家計の支出の中で負担が大きいと感じるもの）【保護者の回答】

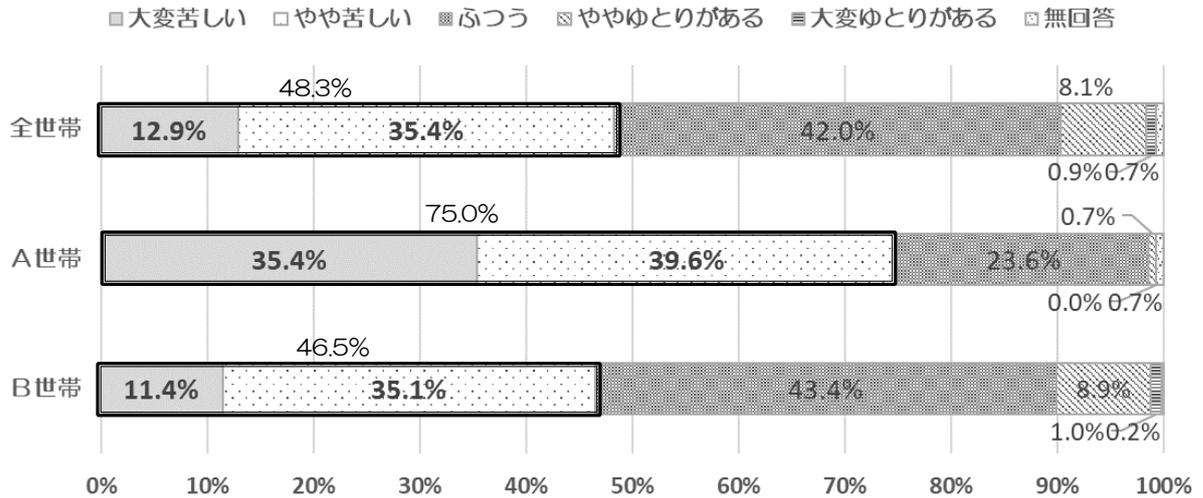
- 全世帯の7割以上が「食費」や「家賃や光熱水費等、住居にかかる費用」の負担が大きいと回答。前回に比べて「食費」が16.8ポイント、「家賃や光熱水費等、住居にかかる費用」が11.9ポイント、「衣類など身の回りの物の購入費」が9.4ポイント増加。
- A世帯はB世帯に比べて「衣類など身の回りの物の購入費(+12.2ポイント)」や「学校の部活動にかかる費用(+5.0ポイント)」の負担が大きいと感じている割合が高い。

	今回調査①			前回調査②			比較(①-②)		
	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯
家賃や光熱水費等、住居にかかる費用	77.8%	73.6%	78.8%	65.9%	59.8%	67.8%	11.9	13.8	11.0
食費	79.6%	79.9%	79.9%	62.8%	69.4%	61.8%	16.8	10.5	18.1
保育料、授業料、教材費など、学校等に係る費用	28.4%	31.3%	29.0%	36.9%	42.7%	36.3%	-8.5	-11.4	-7.3
学習塾、習い事、スポーツ少年団など、学校以外の教育等に係る費用	25.3%	21.5%	25.9%	25.9%	22.3%	27.1%	-0.6	-0.8	-1.2
衣類など身の回りの物の購入費	31.2%	42.4%	30.2%	21.8%	30.9%	19.8%	9.4	11.5	10.4
学校の部活動にかかる費用	7.6%	12.5%	7.5%	12.6%	13.2%	12.4%	-5.0	-0.7	-4.9
医療費	1.8%	3.5%	1.7%	8.3%	7.4%	8.4%	-6.5	-3.9	-6.7
趣味やレジャー等の遊興費	4.3%	2.8%	4.6%	5.1%	3.6%	5.5%	-0.8	-0.8	-0.9
特に大きな負担は感じない	1.8%	0.0%	2.0%	2.4%	0.8%	2.6%	-0.6	-0.8	-0.6

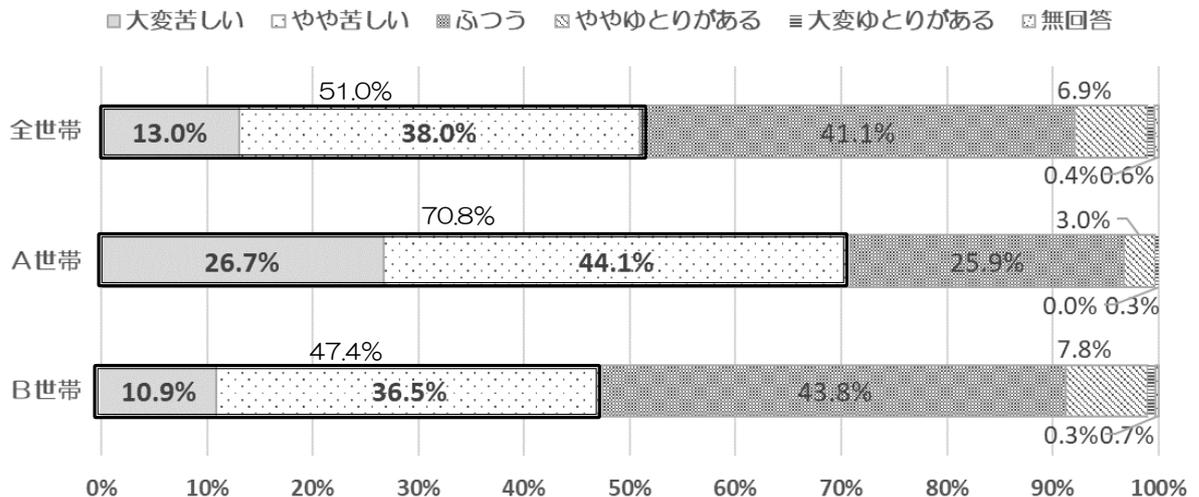
(4) 暮らし（生活意識）の状況【保護者の回答】

•全世帯の48.3%(前回比△2.7ポイント)が「生活が苦しい」と回答。A世帯は75.0%(前回比+4.2ポイント)とB世帯の46.5%(前回比△0.9ポイント)に比べてその割合が28.5ポイント高い。

【今回調査結果】

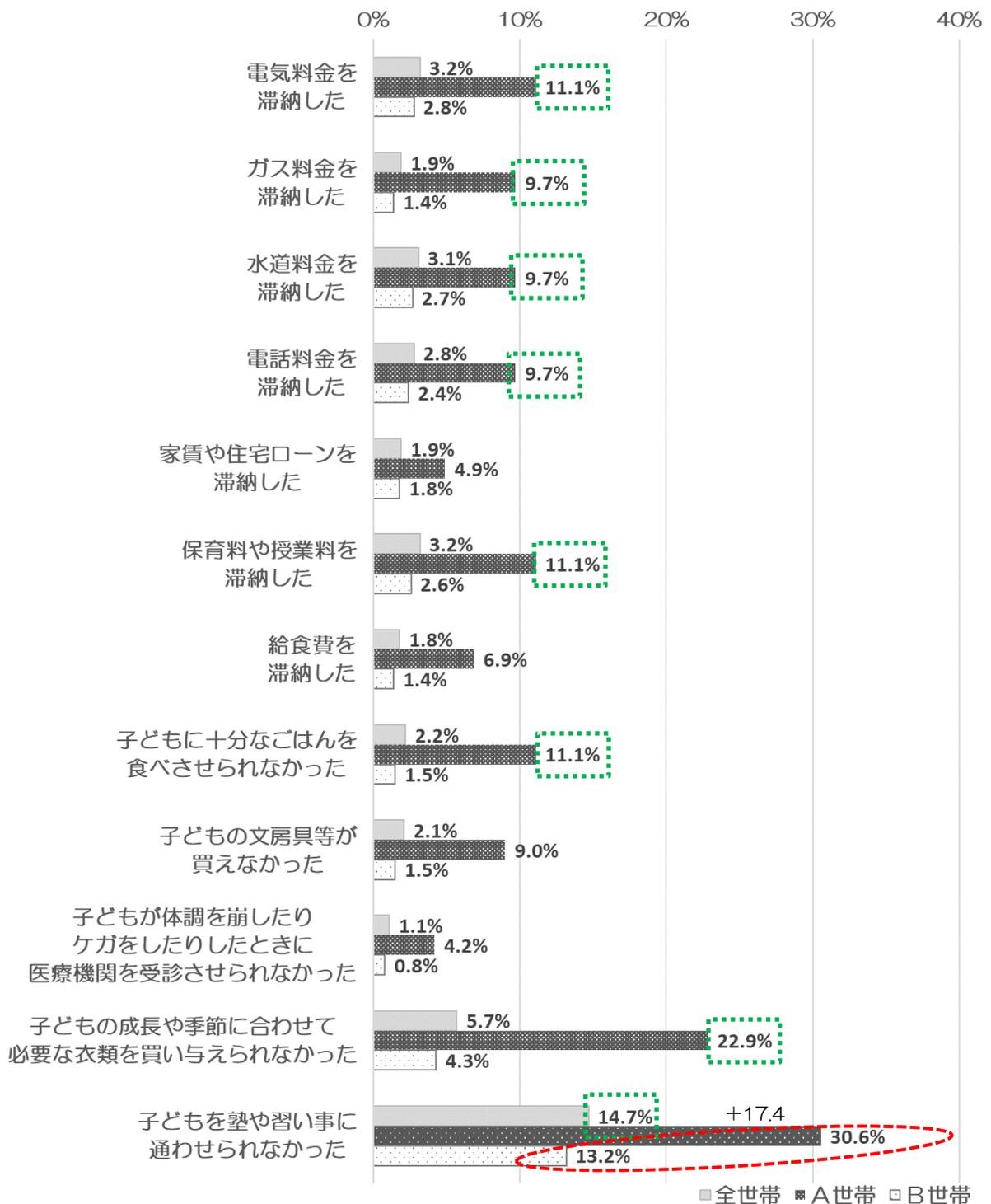


【前回調査結果】



(5) 経済的な理由による経験【保護者の回答】

- 全世帯の14.7%が「子どもを塾や習い事に通わせられなかった」経験があると回答。A世帯（30.6%）はB世帯（13.2%）に比べてその割合が17.4ポイント高い。
- A世帯の約2割（22.9%）が「必要な衣類を買い与えられなかった」、約1割が「公共料金等や保育料・授業料を滞納した」や「子どもに十分なお飯を食べさせられなかった」経験があると回答。



## IV 子どもの進学

### (1) 進学の希望

- 子ども、保護者ともに、全世帯で「大学」まで希望する割合が最も高く、子どもの52.5%（前回比+4.1ポイント）、保護者の62.0%（前回比+5.1ポイント）が回答。A世帯の子どもが43.7%と前回に比べて9.2ポイント増加。
- A世帯はB世帯に比べて「高等学校」まで希望する割合が高く（子ども+11.0ポイント、保護者+18.7ポイント）、「大学」まで希望する割合が低い（子ども△11.4ポイント、保護者△23.6ポイント）。

#### 【子どもの回答】

	今回調査①			前回調査②			比較 (①-②)		
	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯
中学校	0.4%	1.0%	0.3%	0.7%	1.2%	0.6%	-0.3	-0.2	-0.3
高等学校	22.7%	32.0%	21.0%	22.1%	30.6%	19.7%	0.6	1.4	1.3
専門学校	13.7%	11.7%	13.6%	15.2%	19.6%	14.1%	-1.5	-7.9	-0.5
短期大学・高等専門学校	4.7%	3.9%	4.6%	7.0%	5.5%	7.8%	-2.3	-1.6	-3.2
大学	52.5%	43.7%	55.1%	48.4%	34.5%	51.9%	4.1	9.2	3.2
大学院	2.5%	2.9%	2.4%	3.4%	3.5%	3.5%	-0.9	-0.6	-1.1
その他	2.2%	2.9%	1.8%	2.0%	2.0%	1.9%	0.2	0.9	-0.1
無回答	1.2%	1.9%	1.2%	1.3%	3.1%	0.6%	-0.1	-1.2	0.6

#### 【保護者の回答】

	今回調査①			前回調査②			比較 (①-②)		
	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯
中学校	0.4%	0.7%	0.3%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2	0.7	0.1
高等学校	15.6%	32.6%	13.9%	17.7%	26.4%	15.7%	-2.1	6.2	-1.8
専門学校	10.5%	13.2%	9.9%	10.8%	14.3%	9.7%	-0.3	-1.1	0.2
短期大学・高等専門学校	6.6%	7.6%	6.1%	9.5%	11.0%	9.5%	-2.9	-3.4	-3.4
大学	62.0%	41.7%	65.3%	56.9%	42.7%	60.5%	5.1	-1.0	4.8
大学院	2.0%	0.7%	2.0%	1.6%	0.3%	1.9%	0.4	0.4	0.1
その他	1.7%	1.4%	1.6%	1.3%	1.9%	1.2%	0.4	-0.5	0.4
無回答	1.2%	2.1%	0.9%	1.9%	3.3%	1.3%	-0.7	-1.2	-0.4

(2) 子どもの進学について心配なこと【保護者の回答】

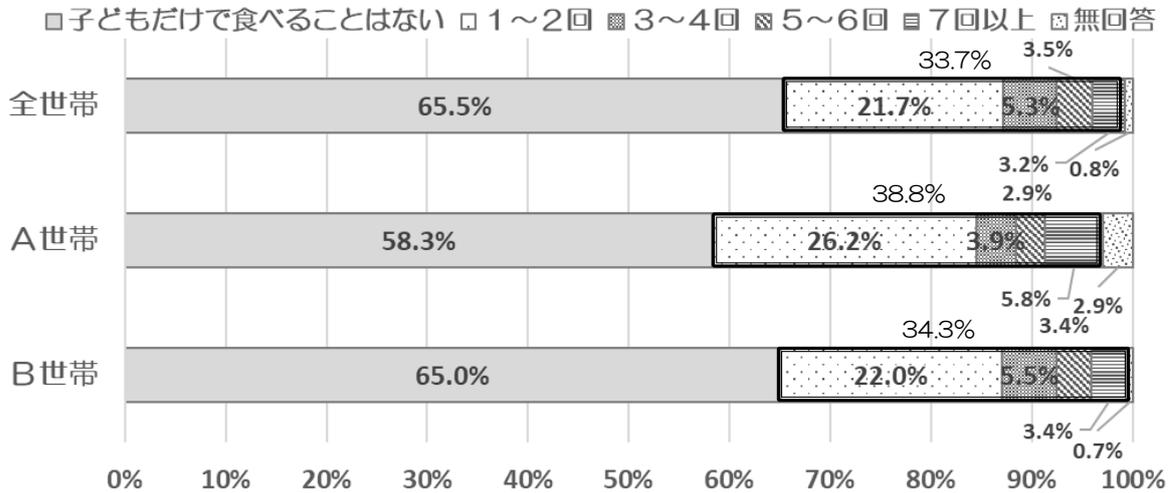
- 全世帯の63.5%（前回比△6.4ポイント）が「学費等の確保」を心配すると回答。A世帯（73.6%）はB世帯（63.5%）に比べてその割合が10.1ポイント高い。
- 全世帯の約2割（18.2%）が「特に心配はない」と回答。前回に比べて4.9ポイント増加。

	今回調査①			前回調査②			比較 (①-②)		
	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯
学費等の確保	63.5%	73.6%	63.5%	69.9%	76.6%	68.6%	-6.4	-3.0	-5.1
子どもの学力不足	39.1%	36.1%	39.7%	42.0%	38.0%	42.7%	-2.9	-1.9	-3.0
子どもの希望との相違	16.8%	15.3%	17.2%	16.8%	14.3%	17.8%	0.0	1.0	-0.6
家庭の事情(家族の世話や家業の後継など)	4.1%	9.7%	3.6%	6.1%	8.0%	5.6%	-2.0	1.7	-2.0
特に心配はない	18.2%	14.6%	18.1%	13.3%	11.3%	14.0%	4.9	3.3	4.1

V 子どもの家庭での生活

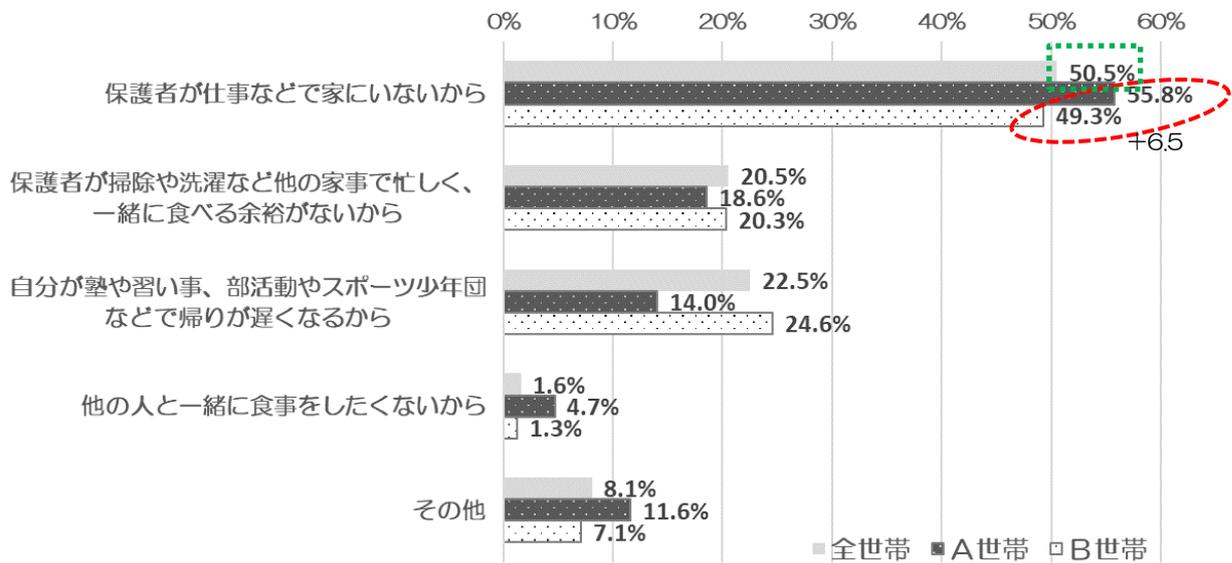
(1) 1週間のうち自宅で子どもだけでごはんを食べる回数【子どもの回答】

- 全世帯の3人に1人（33.7%）が「1週間のうち1回以上子どもだけでごはんを食べることがある」と回答。A世帯（38.8%）はB世帯（34.3%）に比べてその割合が4.5ポイント高い。



(2) 子どもだけでごはんを食べる理由（(1)で「子どもだけでごはんを食べることはない」以外を選んだ人のみ回答）【子どもの回答】

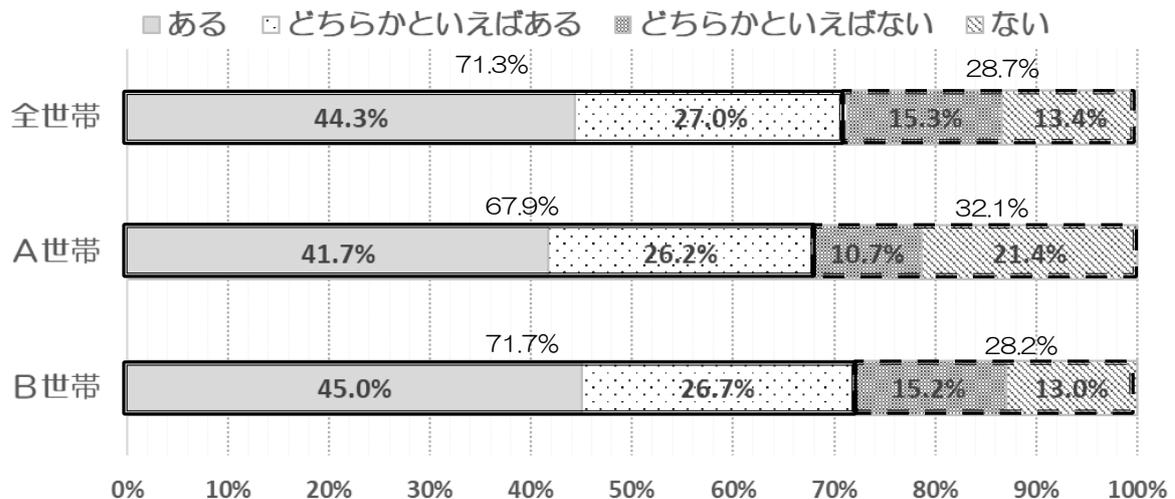
- 全世帯の約5割（50.5%）が「保護者が仕事などで家にいないから」と回答。A世帯（55.8%）はB世帯（49.3%）に比べてその割合が6.5ポイント高い。



## VI 子どもが考えていること・感じていること

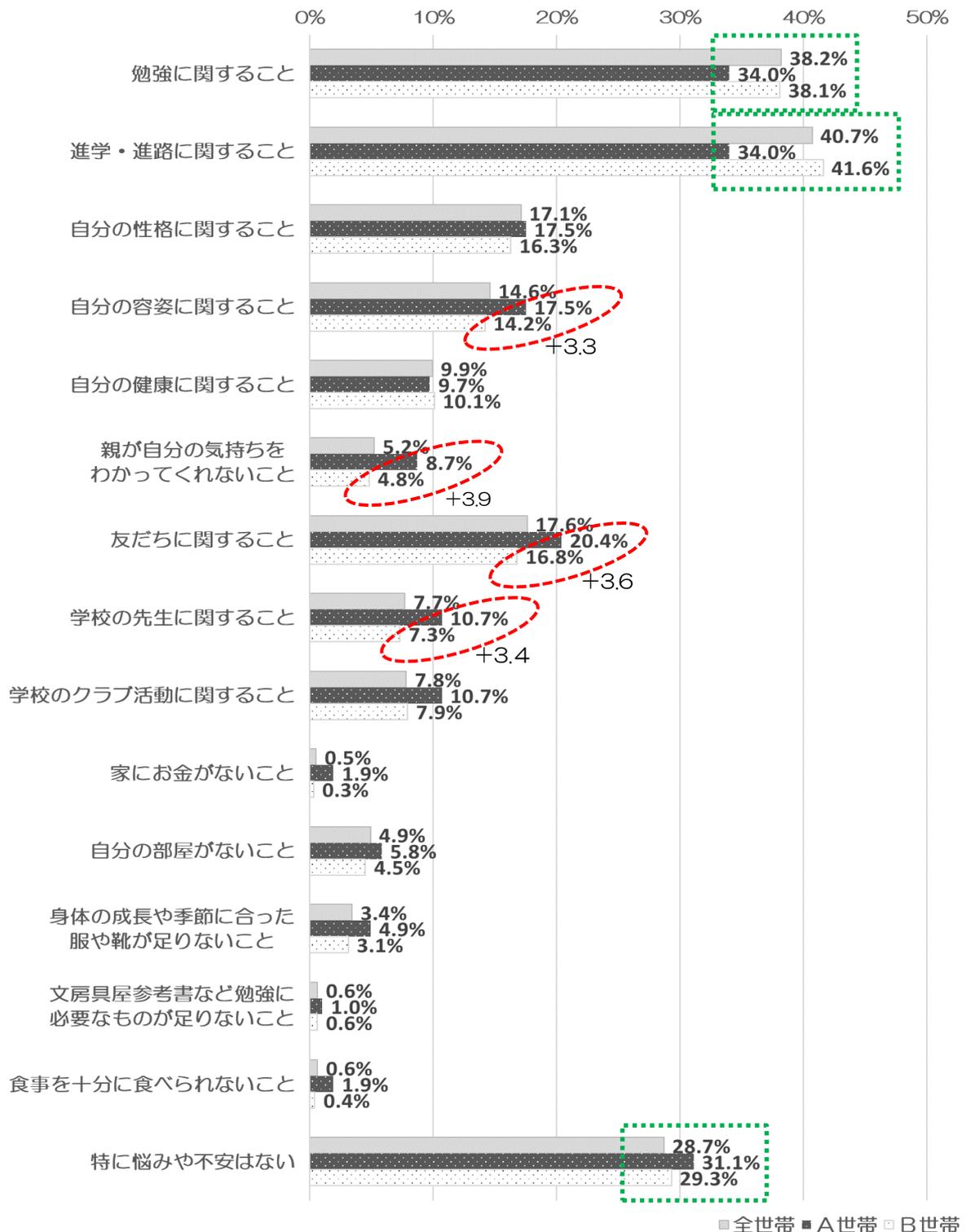
(1) 将来の夢があるか【子どもの回答】

- 全世帯では、「ある」と「どちらかといえばある」が71.3%、「ない」と「どちらかといえばない」が28.7%と回答。うち、A世帯は67.9%と、B世帯の71.7%に比べ3.8ポイント低い。



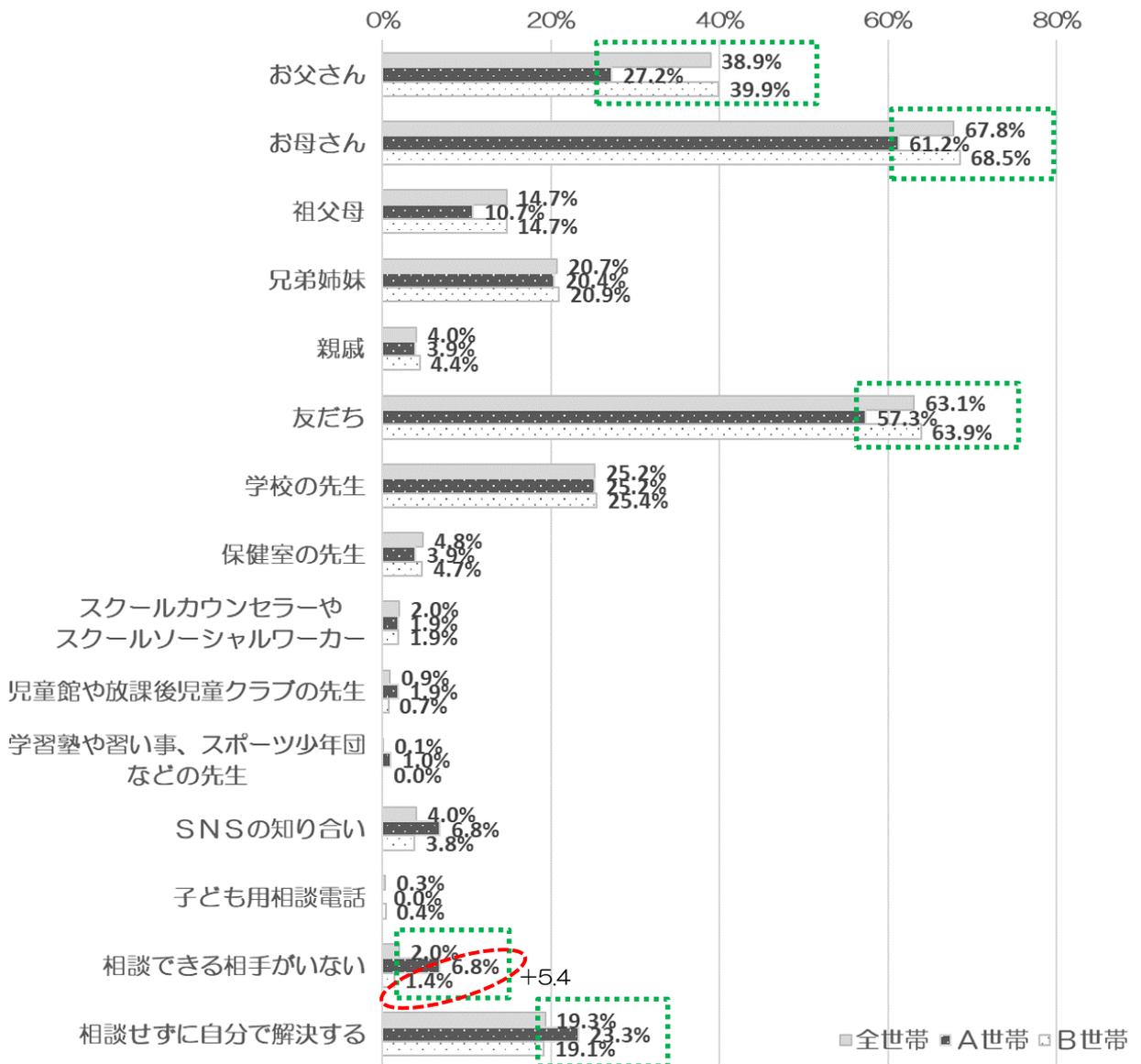
(2) 悩んだり不安を感じたりしていること【子どもの回答】

- 全世帯の約4割の子どもが、「進学・進路に関すること（40.7%）」、「勉強に関すること（38.2%）」に悩みや不安を感じていると回答。
- A世帯はB世帯に比べて「親が自分の気持ちをわかってくれないこと」や「友だちに関すること」、「学校の先生に関すること」などに悩みや不安を感じている割合が高い。



### (3) 悩みや不安を相談する人【子どもの回答】

- 全世帯で「お母さん (67.8%)」や「お父さん (38.9%)」、「友だち (63.1%)」に相談する割合が高い一方で、約2割 (19.3%) は「相談せずに自分で解決する」と回答。
- 全世帯の2.0%が「相談できる相手がない」と回答。A世帯 (6.8%) はB世帯 (1.4%) に比べてその割合が5.4ポイント高い。



## Ⅶ 公的支援制度の利用状況等【保護者の回答】

### (1) 子ども食堂への参加意向

- ・ A世帯の33.3%（前回比+6.8ポイント）、B世帯の22.7%（前回比+3.7ポイント）が「参加させたい」又は「すでに参加している」と回答。前回に比べて全体的に参加意欲が増加。

	今回調査①			前回調査②			比較 (①-②)		
	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯
参加させたい	21.4%	27.9% 33.3%	21.4% 22.7%	19.2%	26.2% 26.5%	18.6% 19.0%	2.2	1.7	2.8
すでに参加している	1.6%	5.4%	1.3%	0.3%	0.3%	0.4%	1.3	5.1	0.9
参加させたくない	25.8%	21.8%	26.5%	29.7%	21.5%	31.6%	-3.9	0.3	-5.1
わからない	48.8%	44.2%	48.6%	47.1%	46.6%	46.3%	1.7	-2.4	2.3
記載なし	2.3%	0.7%	2.2%	3.6%	5.5%	3.0%	-1.3	-4.8	-0.8

### (2) 子ども食堂に参加させたい（すでに参加している）理由（(1)で「参加させたい」と「すでに参加している」を選んだ人のみ回答）【保護者の回答】

- ・ 全世帯の約8割（80.2%）が「子どもに様々な人と関わる機会を持たせたいから」と回答し、約3割（27.1%）が「家事の負担を軽減したいから」と回答。
- ・ A世帯は「経済的に家では十分な食事を食べさせられないから」が18.4%と、B世帯（4.8%）に比べて13.6ポイント高く、前回（9.2ポイント）に比べてその差は拡大。

	今回調査①			前回調査②			比較 (①-②)		
	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯
子どもに様々な人と関わる機会を持たせたいから	80.2%	77.6%	80.6%	77.3%	75.0%	78.5%	2.9	2.6	2.1
保護者が仕事で不在の時など子どもだけでは心配だから	23.8%	28.6%	23.1%	36.5%	30.2%	38.3%	-12.7	-1.6	-15.2
家事の負担を軽減したいから	27.1%	40.8%	25.4%	19.7%	17.7%	19.8%	7.4	23.1	5.6
経済的に家では十分な食事を食べさせられないから	6.5%	18.4% +13.6	4.8%	6.3%	13.5% +9.2	4.3%	0.2	4.9	0.5
その他	2.5%	4.1%	2.3%	3.2%	7.3%	2.4%	-0.7	-3.2	-0.1

(3) ボランティア等による無料又は低額の学習支援への参加意向【保護者の回答】

- ・A世帯の43.8%、B世帯の39.1%が「参加させたい」又は「すでに参加している」と回答。前回に比べてA世帯・B世帯ともにその割合は低下。（前回比、A世帯△8.8ポイント、B世帯△7.4ポイント）

	今回調査①			前回調査②			比較 (①-②)		
	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯
参加させたい	37.3%	40.3% 43.8%	37.3% 39.1%	45.2%	50.4% 52.6%	44.5% 46.5%	-7.9	-10.1	-7.2
すでに参加している	2.0%	3.5%	1.8%	1.9%	2.2%	2.0%	0.1	1.3	-0.2
参加させたくない	7.7%	6.9%	8.1%	8.0%	6.6%	8.8%	-0.3	0.3	-0.7
分からない	51.6%	47.9%	51.7%	42.5%	37.7%	42.6%	9.1	10.2	9.1
無回答	1.4%	1.4%	1.1%	2.4%	3.0%	2.1%	-1.0	-1.6	-1.0

(4) 学習支援に参加させたい（すでに参加している）理由（(3)で「参加させたい」と「すでに参加している」を選んだ人のみ回答）【保護者の回答】

- ・全世帯では「民間の学習塾などは経済的な負担が大きいから」が56.4%と最も高いが、前回(65.0%)に比べて8.6ポイント減少。A世帯(73.0%)はB世帯(55.2%)に比べて17.8ポイント高く、前回(8.4ポイント)に比べてその差は拡大。

	今回調査①			前回調査②			比較 (①-②)		
	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯	全世帯	A世帯	B世帯
民間の学習塾などは経済的な負担が大きいから	56.4%	73.0% +17.8	55.2%	65.0%	71.7% +8.4	63.3%	-8.6	1.3	-8.1
仕事などで忙しく、家で勉強を見てあげられないから	42.2%	46.0%	42.0%	42.4%	43.5%	42.4%	-0.2	2.5	-0.4
学校だけでは勉強がわからないよ うだから	34.9%	31.7%	34.5%	40.4%	46.1%	38.7%	-5.5	-14.4	-4.2
家では勉強をしないから	32.7%	25.4%	32.8%	35.8%	35.6%	36.6%	-3.1	-10.2	-3.8
その他	9.5%	12.7%	9.5%	6.0%	4.7%	6.7%	3.5	8.0	2.8

(5) 充実が必要な支援制度【保護者の回答】

- 全世帯で「大学進学にかかる費用の負担軽減」、「児童手当の拡充」、「進学のための奨学金等の充実」、「医療費等の負担軽減」などの経済的支援の充実が必要と回答する割合が高い。
- A世帯はB世帯に比べて「就学援助の充実」や「住宅支援の充実」、「保護者の就職支援の充実」を必要とする割合が高い。

